

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 499 号	氏名	野崎義宏
学位審査委員	主査	尾崎 誠	
	副査	中島 正洋	
	副査	弦本 敏行	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究の目的はステロイド生大腿骨頭壊死の病態解明ならびに、プラバスタチンの骨頭壊死の防止効果を検討するもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>ステロイド生大腿骨頭壊死症の動物モデルである脳卒中易発症高血圧自然発症ラット (stroke-prone spontaneous hypertensive rat : SHRSP) を使用。ステロイド並びにプラバスタチン投与の有無により 4 群に分け、病理学的手法により骨頭壊死の発生率と骨頭骨髄内の脂肪細胞占拠率、免疫組織化学的手法により酸化ストレスの変化を検討したもので、研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析を施行した結果、プラバスタチンは骨頭における脂肪占拠率と酸化ストレスを減少させるとともに、ステロイド性大腿骨頭壊死を有意に抑制することが明らかになった。これらの結果はステロイド性大腿骨頭壊死のスタチン系薬剤による予防効果を示唆するものであり、今後の研究および臨床応用へ伸展が期待される。</p>			
<p>以上のように本論文はステロイド性大腿骨頭壊死の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			